

【品目特性】 ………

- ●アーデント水和剤の項参照。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………

●ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、本 剤の連続使用はさけ、作用性の異なる他の殺ダニ 剤と輪番で使用する。また、本剤の年間使用回数 もできるだけ少なくするよう努める。

- ●共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を 参照。
- ●共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項 を参照。
- ●ミツバチに対して影響があるので、散布直後から2日後まではミツバチを移動させるか、巣門を閉じる。

- ●蚕に対しては長期間毒性があるので,近くに桑 園のある場合には絶対にかからないようにする。
- ●のど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、カユミを生じる場合があるので注意する。
- ●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- ●カブレやすい体質の人は作業に従事しないよう にし、施用した作物等との接触をさける。
- ●夏期高温時の使用をさける。
- ●摘果等の作業の際は農薬用マスク,手袋,長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。





作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アクリナトリンを含む 農薬の総使用回数
り ん ご な し か きネクタリン 小粒核果類 お う と う	シンナアバタスを カンカスを カンカスを カンカスを カンガダムシを カンガダムシを カンガダムシを カンガダムシを カンガダムシを カンガギンクキムシを カンガダメンクキムを カンガダメンクキムを カアバダメカザダーカン カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダスかが カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダスが カアバダスが カアバダスが カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カアバダン カア・カッショウジョウバス オウトウショウバス オウトウショウバス オウトウショウバス オウトウショウバス オウトウショウバス	2000倍 2000~ 4000倍	200∼ 700ℓ	前日まで	3回以内	散布	3回以内
ぶどう	アザミウマ類 ハダニ類 フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類	2000倍			4回以内		4回以内
花 き 類・ 観 葉 植 物	アブラムシ類		100 ∼ 300 ℓ	発生初期	5回以内		5回以内